

ご存知ですか？

視聴無料

スマホ・
タブレットで簡単に！

録画

膝の痛みに対する3つの選択肢 温存療法～再生医療～手術治療

仕事や趣味を
あきらめない！

講師

春秋会 城山病院

人工関節センター・膝関節再建センター
センター長

村上友彦先生



村上先生からメッセージ

膝が痛いなど感じたことはありますか？
出来なくなった事はありますか？
自分の膝の状態を知り、治療方法を一緒に考えてみましょう！

オンデマンド（録画）配信

配信期間：8月1日～10月31日

「変形性ひざ関節症に対して
今選択できる治療方法」

※7/23Liveセミナーの録画です



視聴用
QRコード



—お問い合わせ窓口—

城山病院 地域連携室

072-958-1000

<https://youtu.be/RqCMdQ0rvOY>

質問受付メールアドレス: prp@shiroyama-hsp.or.jp

【ご挨拶】

当院では **2022年7月から人工関節・膝関節機能再建センター**を開設し、**センター長に村上友彦**が就任します。**年間に人工膝関節置換術を約200件、骨切り手術を約40件、関節鏡手術を約100件、人工股関節置換術を約50件**担当しており、充実したスタッフにより、安全で質の高い治療技術を提供しております。

～変形性ひざ関節症～

Q. 変形性ひざ関節症の原因は？

A. 半月板や靭帯損傷による**外傷を契機とするもの**や、**経年的に半月板や軟骨の弾性が失われ傷んでいくもの**があります。関節軟骨が摩耗する部分によって、**内反変形によるO脚**または**外反変形によるX脚**、**お皿と太もの変形による膝蓋大腿関節症**があります。これを放置すると、変形がどんどん進んで末期状態になります。日本人の場合は**O脚変形がほとんど**です。

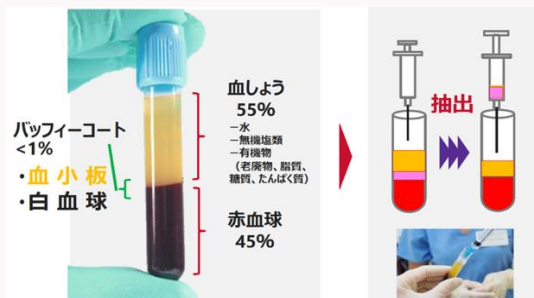
Q. 変形性膝関節症の**温存（保存）療法**は？

A. 消炎鎮痛薬の内服、**ヒアルロン酸関節注射**、**膝周囲筋力訓練**、サポーターや足底板などの装具療法といった保存療法があり、これを組み合わせます。

Q. **温存療法が効かなければ手術**しかない？

A. 近年では**【血液成分を用いた再生治療：PRP療法】**に注目されており、当院でもセンター開設に伴い**膝関節再生医療**を開始しました。

関節の再生医療は、変形性関節症や外傷で失ってしまった機能を“**自分由来の組織**”を使用して修復を目指すことです。当院では近畿厚生局の認可を受け、**血液から損傷した組織を修復する役目の血小板を濃縮したPRP液を精製し移植する“PRP療法”**を行っております。ご自身の血液を使用するので、**拒絶反応や副作用がなく安全性が高い治療**です。治療効果や効果の持続期間には個人差がありますが、**手術をせずに関節の炎症や関節痛の軽減が期待できる治療法**です

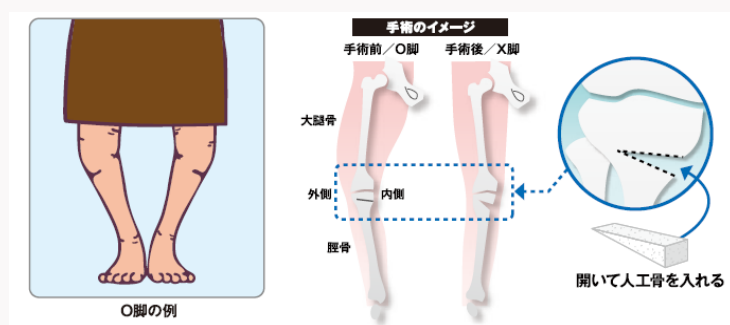


Q. **変形性膝関節症の手術療法**の選択肢は？

A. 手術は変形の進行度によって異なります。

①膝周囲骨切り術

当院ではO脚で内側だけ傷んでいる場合、内側の負担を取るために脛骨側を切る**高位脛骨骨切り術**、外側の負担を取るには大腿骨側を切る**遠位大腿骨骨切り術**、また、脛骨側にも大腿骨側にも変形の原因がある場合に両方を組み合わせる**Double Level osteotomy**など、各種の骨切り術で変形を矯正して正常な膝に近づけて症状の改善を図っています。骨切り術はご自身の膝をずっと使っていただけるので、**術後の可動域も良く正座可能**で、仕事、スポーツ、旅行にも復帰されております。



②人工膝関節部分置換術

高齢者で骨癒合の見込みの薄い方で膝関節の内側か外側の片側だけ悪い方には**人工膝関節部分置換術**を行っています。部分置換術は**侵襲が小さい手術で創は8cm、手術時間は50分**であり、術後復帰も早く、膝関節の安定に重要な靭帯を温存できるため、自分の膝により近い自然な動きを獲得することも可能です。また当院では**両側同時の手術も積極的に行っている**ことも特徴です。

③人工膝関節全置換術

重度変形や可動域制限がある場合、また荷重部のみならず膝蓋大腿関節に変形がある方には**人工膝関節全置換**の適応となります。人工膝関節は術後早期に疼痛が軽減して日常生活動作が大きく改善します。当院では**コンピューター支援による術中ナビゲーションシステム**を用いて、術前計画通りの再現性の高い手術を行っています。

